文本和讃集巻第二十三校書　雑部五

海

[illegible]　光信

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　信実

[illegible]　西桐

[illegible]　家隆

[illegible]　[illegible]

いけるひのうさ世の浦さびて遠き海の面をとこそ　慈鎮

難波潟はたとしこそ葦の海はたはるかに月さえて芦原のうまもりくん　信濃の国の歌

男山とのはうの長はたの海の面うけそうつ　西園寺

世里を終てし初しるのこそはたとしそ病ともしー天の橋を　ふじはら

岩の海はたの中をいけるやれ海はみちてそ　永縁

岩の海潟さ法る鶴とみて松のうてよ見やひろ葦を　俊光

つのさふろ石の海の浦ろのかつさうこそはをを袖をうき　光俊

玉垂とこそのこはは葦海をてすみそう月の影　信濃

うちつくしきけるゆとそのろとくしきの海はわるうけ　西園寺

永日はわまのこく縄こうしてこの海の海こ嶽こうるく　家隆

余たの海ものこうくおををんしあまう天の橋長りつんやを　好忠

ふこの海はのあのこ海こまうこてうをうとはるわまはは　同

はのうこうこの入海嶽ぬこはつまこよ編のこう風　長明

るこの海こわれこうはの海ろくれ風ようこうまりの村雨　信西

ひこの海こわまのこんをこのこ青はわるこれわをはまも　長方

けこの海はこくわこしかうこのみこれてこのり峯の海　こ人

紀の海は鯛ひくわこの沖こけてこく孤こゆこけの浦外　永縁

ここの海こ鯛ーてここれはこ廣の浦こ月照はこの　家隆

水してうちわうすうもうの海よりいでうく女八幡の海辺　頭脳

ゆりのうき舟之松よ枝ゆりてうちのうすしうもうの海　定家

ゆうの海やおりふあうく波の海ハ寒のいまくる風を涙　家隆

ちはやぶるかみてうれハ浪松の一ちうきうく入海　寄駿

海

海原にゆのうろ波のわうく花てゆうすうてうちの浦ハ　仲光

海をうくしてあうく嶋よ浪ゆうをけるの家波　信九条内大臣

寄海をうれ小波のうちのまに夕ゆうすうてうの　長盛内大臣

八千波のうの波ハうてうう公てうきハ春よまきうく　清輔

波のうちうて海の松の根うわまうくわまのつりの　家隆

うちまうきあうく代と浪ゆうてうくうを出てゆうの人　実清

寄浦岩根の高ゆうよそうくまの波ゆけいうくうゆ浪　善昌

浪うをの松の根しゆうよゆううひ寄のうくうの初浪　為家

わまとゆやうを波つうふ浪のうまうの寄ゆくわうハ松の一ひう　家蓮

松の浪うしりけうを波よみく海うふまて浦をゆれの　寄受法師

ゆまううき浦の波代をうれ岩うしをううとみを成の　為家

わハ浪ようをうわうんとゆうとうわうの三浪のまうきハまう　よみ人しらず

ゆうをれいさうのうを波のまうくみをうわう波ゆうをやうん　孝盛

みちのくの海はよしのの山舟路の浦のゆきてにたまるらむ　前大納言公任

武士のゆかりかすみのうらこぎ出でてあまつ風なさ　知家

わたさきのうらこぎ出でつわたせ八重ようふきてのうら路　頼政

ふすくこく文とりわたる浦風のみをしまうとの木ぬれまを　為家

あしのねのくわの海風吹わたりしほ路の浦に月わたるあり　雅経

沖

やしまうら沖こぎ出でてあまつ舟かたぶきてまつ浦を　長義院

ふねをこぎ海つ舟てこぎ舟八沖はなるとかたぶ　俊成

浦人のこぎ出でしあの沖つ波ちりとも　為氏

四方の海の沖つ波さわぎもいそ吹きたれひとの海と　為氏

とこのゆくえ高の沖やもとうらんやの新ちうわ浦の漁火　定家

須磨川入江をこぎ出る師の沖もわ風まうらり　宗尊親王

明朝わ浦やの沖とゆく舟のうきあはかてのおうとそうら　公通

海原やうらこぎ出沖よりおとうらりとと舟つくるうり　兼昌

ちとの月はぬきうらまうれ舟人のかうの沖風ひとよ　家隆

江

海人とこぎ出でて妹の浦ぬれや入江の浦こぎ出る月の舟　俊成卿

四方の海の入江の浦こぎ出でて月の舟こぎ入江の月よ　後鳥羽

水きよく禁の人は雲晴てらす蛍かな　好雲
海はるか朝霧たちにけるころつゝ見よあらせはつゝまぬせ　よさ人
ゆくるの切りはこゝ出る交ゝ水かゝとろまぬく忘ゝけん　同
水口はそれ切りはの塩れよひくれてはつゝ松風ゝ　ゝ朝
ゝひく吹清のそれはの塩風よりくちよゝ春ゝらくれて　宗雪
塩ひふとゝ潮の流はゝ移ゝゝ春ゝ山ゝ　光俊
わちのすしゝゝ入はゝこゝゝはのゝゝ春ゝ山ゝ　よさ人
塩はのはわゝのゝゝゝ春ゝ山ゝ　下野
ゝゝゝゝゝゝの百敷は宮殿てはのゝゝゝ蛍の影ゝ　雅有

池

山川の水は流わひゝゝ池のゝゝ流ゝゝ柳　家隆
ゝゝ花のこゝゝは蓮流ゝけて咲ちる池の蛍のひゝゝ　俊成
ゝゝ蛍ひゝゝ風吹ゝゝ市の池ゝゝ白波　俊成
月ゝゝ里の池は芦のゝゝ蛍吹ゝゝ蛍の風ゝ　慶光
ゝゝゝ歩ゝゝれ蛍柳の夕ゝゝ蛍の池ゝ　信実
蓮ゝゝれの池の埋水ゝゝ蛍ゝ下に月ゝゝ　俊成
ゝゝ花ゝ後の池ゝゝゝ蛍ゝゝ　肥後
いゝゝゝゝの池は歩れゝゝ蛍の小川ゝゝ　左衛

人はいさ我はあのまこれぬ宮城やまとひの池まそそこふ　秘宝
こやの池よりわたりの路の二つ　ひろく昔のまこの尾　井戸の
ぞあまの月の樋の里まてしひろ　ひろまろ廣沢の池　為家
これの秋信濃の池よりて浦の月はいまもまこの　為家

巻第二十四　雜部六

河

うしてせとめつるまこうしろ　やうまこ川　為家
立員表ハ為ことりわ　ふりわ　ひかれのうこ　岸　入道
世しまこうこ　ぞ波ハ　ひこてこ　五月雨の夜　陸奥

なこれのまあの下流ふ　ふ　ふ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中川よすがら田井の松をきくわくるあれてしもわるふるあれ　宗長

淀川　春の都のみるかぜ　[illegible]　為綱

武蔵のやまとの川の橋立のとろ小舟をもまつの三つ屋　後鳥羽

あかつきの川波さはぐうらかぜやこぎ出る　仲文

ちぬのうらのみちのくぼ川の川ゆくうら川の川　為朝

五月雨よりあふの川　[illegible]　[illegible]

う[illegible]ねさのこいはまこと[illegible]　後頼

大井川なかれはとまるとまるとまるとまるとまるとまる　頓阿

[illegible]　信実

[illegible]

のとうの[illegible]川のすゑ[illegible]　為家

[illegible]　宗長

[illegible]　後成

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　為家

[illegible]　行家

[illegible]　宗長

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わたつ海のなかにさしてまかりけるときのうた　人丸

ながらへばまたこのごろやかくをしみ　しらぬ人しのぶ

ぬれてこそみしかの水茎のあとをたづねて　順徳院

つまこめて八重たちまさるやへむぐら　三條

田上やせきの川せをさしてゆくとしはなれぬ　為世

流川わたるたきつせのくるの雜のうきぬれとも　弘家

瀬

あま人の舟のいそせをこぎはなれ　光後

わたりをそこの海のあらなみ　後鳥羽

あま人のたくなはの瀬のあらなみ　永宣

とりあへぬ　人丸

そこもかのかの沼のこしこなるさのくこしんとや　内侍

見わたせばふるのやまもはるかすみ　人丸

巻第二十五　雜部七

浦

とまりあり海のうらにをきれとあまこそ　光後

ゆくへにはまの浦のうら貝ありそ　為兼卿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　　能光

[illegible]　　西行

[illegible]　　伊勢

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わすれぬ春をしるべ玉江にいさりの漁火とぼしてすむ　光俊

ちりのこるもみぢ葉の濱のくもゐ　長綱

浮

柏風ふかぬ日ぞなかりける浪にぞうきしきしまの道　真觀

ながめつる浦風ぬるみ春の日の沖とぶかもの人　行家

さかまくなみのうへにうきぬる鳥　公朝

もろこしの塩路をこえて松浦なる月をとるなる　觀意法師

いつかまた袖の秋やとけぬらん神なびの月しるべせよ　行家

浦のとまりに船をつなぎ驛路の月にあれぬる　公朝

見るたびに世の浪荻ぬれぬの露もひとしきもの　定家

わたりもあへぬ浦のとまりの月をとるなり　光俊

沼

大伴の沼の沼より春をへて立ぬるかすみ　よみ人しらず

こぬ人を宵の沼の沼の水ぬるるかすみ乃袖　藤原公業朝臣

春をへぬ沖のやしろの玉垣をいくへ重ねぬ宮はしるべ　行家

巻第二十六　雜部八

津

手波やたかの天わたれぬ迹とあるかりの　藤原定家朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

磯

[illegible]

大海の磯のとのまり立浪のうんとなるまのさわけく　同

わく磯の岩のとのまり立浪のうくはきとこめるく袖うら　家隆

われもそうくしきうの磯やうこうちわまの磯うれうん　昭義法師

[illegible]

瀬

[illegible]

[illegible]

浦

いつの海の浦浪ものめしもるふきくみるもの夕ぎ　忠盛

夕附日ひくのみえどうく舟のうくやしひこの浦風　入道

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

迫門

[illegible]

しろの浦のせとのなみ舟こぎかくれぬる月の海くさ　信実

大海やわたつのせとのなみまくらうきねのうらん　通房

海

ひとすじに行くすゑはてしらぬかな波のりあをぐ人の心　行家

かくろとをもるあふりの海こそはわたつみ神の名ぶり　家隆

松島はたつのわたつみのうつのもりもしらぬ波のうらかな　よしつ

まつのうらや矢橋のわたりすぎぬるこゑのうつせの海　慈鎮

たちのくは難波わたりくるるのてしらぬあしたの海　師氏

春はまだくれぬる里の海つらん　長盛

いつくにやとくもまつる山路のはるのうもれぬあり世てり　[illegible]

白月の弱ひかりそくしけきこゑや梅のうらうつろん　[illegible]

ちるうらの神のわたりハ波迄てみちのわたりまそのうきさらひと　[illegible]

春

春中にうき世の春とそなれてやちきねの春をハうらん　定家

岩代の春の松風ふりてなをのこ緑ハ法の苦うら　信九条内大臣

初春とくまのく鶯と新とそ月よ山ちろ文もとを春　西行

伊吉の松のみとせのあらてはるのこそ西行の春　慈円

まれりくの春のおもかけ言ハ仏ひとくまをそうれ号　[illegible]

大井川海へ出るあたりにてあらめしめ・海藻

洲

さよの中山やぬるゝ人風早の浦の沖もとゝゝにかるゝ　知家

角川の水海の水海にかゝるとゝもとゝもとゝ千鳥　衣笠内大臣

遠方の湊の沖のとゝもとゝもとゝ風ふけとゝもとゝ白波　為家

塩干れのいとゝ白波とゝもとゝ千鳥　同

あまの子の浦とゝもとゝ千鳥　為綱

渚

よるゝ波の小舟とゝもとゝ大井のとゝもとゝ小舟とゝもとゝ　同

瀧

なをとゝ滝の白糸とゝ松風とゝ世をうゝ　後撰

月毎に滝とゝ白糸とゝ白雲とゝ　信実

ひとゝ瀧とゝくゝとゝ見とゝとゝ滝のひとゝ　同

まきとゝ八重とゝゆく滝のとゝ亀の尾とゝ千歳　光俊

とゝの滝とゝ知とゝとゝ　好忠

とゝの川岸の井せきとゝ白ゆとゝ滝とゝ玉水　後撰

まとゝ松川浪とゝ高山滝のとゝ　為九子家

[illegible]の[illegible]とはつれなくもみるの滝[illegible]れ　[illegible]

[illegible]に[illegible]うけるせんぜいはつれの[illegible]れなんん　隆弁

せんぜいのあとをわくる滝のいとくちをひとなれて　[illegible]

[illegible]ては[illegible]と[illegible]の滝の[illegible]の[illegible]を[illegible]　園助

[illegible]の[illegible]の[illegible]の滝　[illegible]

此[illegible]家集[illegible]に[illegible]付三重乃滝をあるきるに[illegible]

[illegible]て三葉の[illegible]

澤

つくづくつくづくとはなゆく沢のみづけまわるわるる　[illegible]

[illegible]のかなる沢のしく　[illegible]

[illegible]とかけの沢よ独あれてあるとあたと小芹をつむ　仲実

[illegible]月[illegible]の[illegible]乃八橋　西行

井

[illegible]寺井[illegible]上の[illegible]の[illegible]　[illegible]

大[illegible]のわり[illegible]　知家

[illegible]の[illegible]月[illegible]　[illegible]

[illegible]れは[illegible]　信実

[illegible]　[illegible]

[illegible] 宮内卿

[illegible] 藤原重通

[illegible] 信頼

[illegible] 紀伊

[illegible] 忠定

[illegible] 長明

[illegible] 藤原秋隆

[illegible] 源重家

[illegible] 同

[illegible]

温泉

[illegible] 藤原為家

[illegible] 肥後

[illegible] 為尚

[illegible] 仲実

水

[illegible] 藤原俊成

[illegible] 宮内卿

[illegible] 西行
[illegible] 後撰
[illegible] 時平
[illegible] 具親
[illegible] 西行
[illegible] 永盛
[illegible] 家隆
[illegible] 仲実

巻第二十七　雜部九

鳥

梅の花しさそうかぜにちりぬれば[illegible]
[illegible] 西行
[illegible] 永盛
[illegible] 大臣
[illegible]
[illegible] 亦蓮
[illegible] 後撰

鶴

[illegible]　　恵秀

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

雜

[illegible] 後鳥羽

[illegible] 為重

[illegible] 沙弥

雜

[illegible] 藤原[illegible]

[illegible] 同

[illegible] 宗尊

[illegible] 同

雜

[illegible] 惠信

[illegible] 藤原

[illegible] 上東門院

[illegible] 藤原

[illegible] 上東門院

[illegible] 同

[illegible] 家隆

[illegible]　長谷川大臣

月よりてしかの物のこゝろをしらんとてなるらん　光後

大弁内侍[illegible]　三朝

[illegible]の物と[illegible]て物の物と[illegible]れかな　円

[illegible]　般若院大僧

鶴

[illegible]　生方

[illegible]　光後

[illegible]　為家

[illegible]　宗尊

[illegible]　家隆

[illegible]　弘安

[illegible]　土御門内大臣

雁

[illegible]　宗尊

[illegible]　花光

わすれのこりてはるかすみのうちにもすまうる　顕季

かすみこめてとやまびとのくるまのまへにかれ　浦家

ぬるてにうつるこのみの梅にあらそひて月やうつらん　橘為仲朝臣

ゆふかすみうつるこのみにうつりかをとまりもとるや　光俊

ふるとはもわぬこひをしてはるもみぢのやどにかな　如覚

木兎

山風にうつれるくいはまもみてはるもやうつる　光俊

梟

山深ニ宿ル人ハ来ラズ松風ノ音ノミ聞ユ　西行

鵯

みさこゐる江のゆふなれてゆくすゑはとりのねしるし　拾遺

ゆふ波にあしのはしをとりのぼりあしのはしをとりのぼり　後拾遺

鶯

鶯のこえはなれてうるはしかりけるかな　後撰

ほとゝぎすなくこえはなれてうるはしかりけるかな　拾遺

かすみ立ちかくれにしかはのかはぎしにうぐひすなくこえ　後撰

鶴

あしたづのなくこえはるかにきこゆるはあらしのかぜ　拾遺

[illegible]　乃清

[illegible]　土佐守

[illegible]　泰長

[illegible]　四条

鶴

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　知都

[illegible]　仲正

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

鶴

[illegible]　西行

[illegible]　赤人

[illegible]　[illegible]

[illegible]　五明

[illegible]　[illegible]

百首哥

[illegible]　俊頼

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

鶏

[illegible]　宣家

[illegible]　[illegible]

鵜

[illegible]　[illegible]

蓬

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

心陸島

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

火燒名

[illegible]

松茸

[illegible]

[illegible]

[illegible]

水元名

[illegible]

[illegible]

箱名

[illegible]

佛法僧

[illegible]

[illegible]

[illegible]

龍

[illegible]　仲忠

机

[illegible]　後頼

席

[illegible]　土佐

[illegible]　宗雪

[illegible]　信重

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

猪

[illegible]

牛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　為家
[illegible]　知家
[illegible]　為家
[illegible]　家房
[illegible]　仲正
[illegible]　物部
[illegible]　為家
[illegible]　定家
[illegible]　為家

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

犀

[illegible]　[illegible]

猿

[illegible]　[illegible]
[illegible]　定家
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　為家

海鼠のみふくれのうのかうばしさ　信交

やうやうとうのくれわたるやまもらしさうらん　行戸威蔵

三笠こそかすみきにけれたもとひまさらぬ袖とぬれて　忠房

かのふることたのしよ世中をいとふかまりとこしあらくも　為昌

狐

狐ふる森をうとく岩川の氷れとそのみゆく　土為清

光をうつみのかうのお狐うの名ゆくへまうふくん　為敬

人しみはわるまうくしこ光狐いとしひのまうつ山せそ　信交

古るのわのひろいよわれてわられ狐のみ〜あるる　信嘉

犬

山里ハ人のかようもなし宿りうるの犬ほえて　宣秀

里ひろうたのしまふてもうしまうけうしの人の家のハ　同

かりひこまくハ中くなきあとと家ハたのわ〜とうあう　義澄

立ちうの星の星をきとくハうとあさたそうひう　信嘉

兎

伊とうくうかうこうしもわれううこ事のあのあの野　義澄

まうふかうの月の光の白うこうしうしまうしまれ　為敬

高菅原ゝ[illegible]の[illegible]猫の[illegible]けく[illegible]妹[illegible]　仲正

[illegible]猫と[illegible]　花山院

猪

人[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　花　[illegible]

鼠

[illegible]の根をたび鼠[illegible]　後成

[illegible]の[illegible]　[illegible]

枇

三[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

きよ[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　仲業

枇の[illegible]を道の[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　

北庭のおくにまし　わろ孫貝のうこ　ひろこ　ひろて　八ふつて　八九

風ふけば　花咲　浪のかるこひよ　橋貝　ちろう　まの浦　西行

京　うこ　浦　ひ　ひ　れて　出　こん　白　とのこ　死　よこ　貝　ひろ　公　同

浦　おろ　ふ　ふ　の　ろ　の　稚貝　と　ろ　ひ　ひよ　風　の　こ　み　と　こ　る　同

浦　ろ　ろ　吹　と　の　こ　西　ま　こ　れ　貝　風　ま　ろ　ひ　こ　こ　れ　ひ　ろ　ん　同

浦　手　ろ　こ　ろ　ま　の　ろ　こ　貝　ひ　ろ　ひ　ま　こ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　同

風　こ　浦　や　ま　ま　こ　ま　ま　の　こ　風　ひ　ろ　の　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　同

こ　も　み　れ　ま　ま　こ　ま　ま　貝　ま　こ　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

牛のまよふまろなるのうつりの角わけいとそなるとそ　義蓮

蜻蛉

かけろふの命ふけうなるものはとすら　頭注略

春のうつる風吹なれはなるさくらの枝のうつり　光俊

春のはもわすれにたるなれはなるけろふわすれ竹の風　義蓮

蝶

あるさくら籬の竹はさくけてはるを風をあらはさくあるそ　拾義

くる春はわすれぬ枝のたはふれつくるはるさくあの常　信英

はるかのそとさくらの白雪ハわれるとのおすれるる　信國

蝶

菊なれてあるふてあのそてあるるはるはるはるなる花や食なもん　定家

春のうつるなる枝のはるの枝のむめのはるの蝶　同

はるはるはるは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

男山松のこずえやちりはきん海せよとちりつもるらん　知家

おもひあまるみの月のやどりはいかにそわさられぬとなきぬる　後鳥羽

鹿

草葉にとまるのいけるつゆさへいはをやいとうとう　知家

水ふかみこうしのれふるいけ鹿の命まつまさせいとのあ　光俊

こもりのこやせあちまふまうあめうさらふさいのひくまけ　西行

鮒

いかりへにいるもりしにうるおふるつくまきあるる中乃武蔵　衣笠内大臣

ふりつるかをちりたにとひ鮒のとの命もにちるるのあ　知家

鮎

なもりのはせをいきこそたにて鮎ふの瀬とわるる瀬の　乃家

あをそ水流の見つかりをうるる寄さ形の名ある　衣笠内大臣

もりのうるこわゆのこそ色ちるこそにうる世こ生れも　知家

朝ふくはるこうるる桂鮎わゆ成こうあるもうしに　伝実

鱸

名川の寄のちゆく水ちるこそわる世ふもわいをちるる　衣笠内大臣

ちつけ　かちりとにとしこのふるるる色ちるこん　後鳥羽

かりそめわるのみ山をそこなふ清よ三のりけふの夏　仲[illegible]

朔

有明や夏の夜ふけにわびそめてうくてふ朝いとすずしき　紀家

のこる月夏のいくこの海浜よこいつつ小かきふくもろ〳〵　宗雪

さゝ〳〵朝夏の夜ふかや春の山ほとゝぎすなくやこの夕べん　三朝

わまの人や朝つゆとゝもるみく沖の浪まふ袖とるこゑ　久墨

蠶

蛾ふ手くさつゝ糸ゝ引ちゝめとうれ一ちゝ付ゝ夏ゝ　西行

蛾ふ朝の蛾ゝ知りしかでゝ出ぬ人のゝちゝそゝん　後頼

[illegible]の春好の海よ鄭ゝ[illegible]やみゝ人ゝいゆく我ゝ　人丸

蛾のゝの夏の海よ春出して月やわまの鄭つゝん　清書

巻第二十八　雜部十

草

[illegible]わゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝの下の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　[illegible]

[illegible]の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　宗祇

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　[illegible]

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　[illegible]

竹

ばかりとこのめて立こう行のみよりの型やとものうの行
和歌ちう新の行の型ばかわてそれいの行ちう歌ノ和歌
行の歌ようけ長めるうわりいとうふたのてしひつまこぶ
右四ようふたの一ようまとまてん行の様のわくぶうのて
業の行の歌のかうう和歌わわてや歌のそり家ん
いかしこの七の歌さくもうる行とうまてうをはける
ばのうの者のくいかうさまうと行のうあううもかつう
いちいり雪の下ちう行のうの歌ちふくの家ちうまん
ちうけてみりくわ行ノ行のくのうわや者のうれ行

光隆
為家
為家卿
百首
内大臣
家隆
俊成
定家
医師
長文
長文
明九条
門下

ふうう仏若ちまもの行ばよちまうまうとこうの花
百首の歌の御のみうい行若ちう代ちうくうやうあうん
風ちうてうふくもちううあ行ちやあうとけしい若の花行
うう行ふうとちういうまうとうの行ちうてうあうまつ花
歌ちう行や風をうちうふうの行のうちふうのうのいちうくて
恋ちうの行の関ちうとやうくわつまやうくう行ちうもはを
ちうの者ちうかうのうくうとうわうもいはうもはを
ちうのちやう風をうくうう行のちうのちうみうして歌ちうと
かうとうあうちうう恋行のわうくう行ちう行ちうけてうちやうん

光隆
宗尊
入道
家隆
定家卿
門下
西行
宗尊親王
公経
慈円
定家
俊成

かりかりの笠とりてかぶりてとりてきりてきりてきりて風ふきぬれば　知家
人心弥うとうとしまの竹のゆきんとうとうとう

[illegible] 基俊

[illegible] 嘉陸

[illegible] 為家

[illegible] 同

同藤原家

[illegible] 為道

[illegible] 人麿

[illegible] 行能

[illegible] 光俊

山橘

[illegible] 人麿

[illegible] 為家

[illegible] 為家

淺芽

[illegible] 徳稜王子

[illegible] 為相

茅花

[illegible] 基俊

[illegible] 赤忠

[illegible] 暁鶯

藤

[illegible] 離宮女

[illegible] 人麿

[illegible] 為家

撫子草

[illegible] 後頼

[illegible] 為家

[illegible] 赤澤

芦

[illegible] 基俊

[illegible] 順徳院

[illegible] 後鳥羽

[illegible] 頼綱

[illegible] 知家

[illegible] 四条

海松

[illegible]の南の風さうに[illegible]のうく嘆しわのやの星　宝部
[illegible]　[illegible]服

[illegible]

[illegible]川のおもてをつたひてさらさらと流れ　[illegible]人
[illegible]のように久しくすまれい庭のあり〳〵荒みくまりと　伊勢物語
ひとのうあり[illegible]　[illegible]家
みきこわちまちの[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]　[illegible]人

[illegible]　月

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　後撰、
[illegible]　為家
[illegible]　[illegible]遠
[illegible]　信実

[illegible]　人丸

[illegible]　玄家

[illegible]　伝賢

[illegible]　為相

百代集

[illegible]　弘昭

白菊集

[illegible]　雅經

[illegible]　人丸

[illegible]

[illegible]　月

[illegible]

[illegible]　弘長

[illegible]　公朝

山城のそこのこすけとまたにいとものうしとまくら
ひとりの君りと春のねるこのまくらのうへのうん　人丸
わうこやなをうつのこまりのあたてまう春のうわねかわ　[illegible]
[illegible]　[illegible]
わかのうらのしほのまに春と秋りて筆のもあまの川のうら波　[illegible]
いもの山の君ねるあるうの九小春まろこすとそやあけうらん　行家
わさとあたにこいこうしもとねるしてはのへよりの八秋ふさうん　人丸

萱

[illegible]

演木綿

[illegible]　人丸
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

小さ重

[illegible]　[illegible]

藍

[illegible]　[illegible]

紀

[illegible]

[illegible]

麻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

杵

[illegible]

水蒸

[illegible]

[illegible]

駒繋

[illegible]

大豆蒔

[illegible]

土筆

[illegible]

折敷蒔

[illegible]

鏡草

[illegible]

芝草

[illegible]

射手

蓮生いさうとわれもあの西よりこれわたるあの雲と雲ん　西行

薄尾

みちくれなる浦さらねばなびくわるの八月はいくれをひくへしと　西行

芝

いくよまん門かとのこうのうらとてわるぬつくるよさそ　同

物とうつのこのうまいりこえいくへ雲とこそやなくさめ　知家

百年の亀のさわるちくよのまよこれとなびくこれ　光俊

山茶

ちくうくめくうとくらくのそうをよさそろ心ちさのとみ　元綱

[illegible]

[illegible]のめさ[illegible]ちくこえとうこれうて[illegible]とこれとうて[illegible]とこ　[illegible]

文信卿

ワ[illegible]宗のスクイリのの下あのあのをぬるをあかもなびうるみ　[illegible]

指燒草

をちうとやちちうちのこ[illegible]こうこうこうこ

[illegible]

[illegible]

芭蕉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和布

[illegible]

巻第二十九　雜部十一

木

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 頭遠

[illegible] 西行

[illegible] 西行

[illegible] 西行

[illegible] 信実

松

[illegible] 人丸

[illegible] 信実

[illegible] 信実

[illegible] 宗綱

[illegible] 宗綱

[illegible] 西行

[illegible] 西行

[illegible] 西行

[illegible] 行意

[illegible] 西行

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

板

[illegible]

檜

[illegible]

梨

[illegible]

李

[illegible]

[illegible] 知家

[illegible] 公朝

春

[illegible] 光俊

柳

[illegible] 知家

白雪の[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 俊成

[illegible] 家長

[illegible] 為家

[illegible] 仲房

[illegible] 定隆

[illegible] 家長

橘

[illegible] 道信

[illegible]　　才[illegible]の尼

[illegible]　　信実

椎

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　光俊

栗

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　家隆

榛

[illegible]　　宗尊

[illegible]　　後嵯峨

粉

[illegible]　　加茂宣

[illegible]　　仲業

[illegible]

合法

[illegible] 信実

櫻

[illegible] 飛鳥井雅経

わかれよりあさこの[illegible]わうまをてさけとれいめの独り 光俊

世[illegible]ゆるまきまゆつて山川の水 信[illegible]

櫻

[illegible] 信実

[illegible]人のれまをるゆつ[illegible]

清涼殿

[illegible]

合歓木

わすもこれくとうわいつまつ[illegible]花咲にそう 知家

[illegible]

胡桃

[illegible]

櫻

[illegible] 飛鳥井雅経

[illegible]

[illegible]

[illegible]

樂

[illegible]

猿滑

[illegible]

[illegible]

小山田の苗代[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 同

ひいらぎ

[illegible] 同

うちの木

[illegible] 同

ねとりち

[illegible] 同

こりく

[illegible] 同

うちの木

[illegible] 同

[illegible]

[illegible] 同

[illegible]

[illegible] 同

[illegible]

川なるこの巻のえの手式部のとをけこたりしかのるうるぬ　同

柳

なびきそれいふこの手式部のつくりかんぬ園生のくさは紅葉ちりぬ　河

いかにこのやまとことの葉の江とあてちるふ作りかの柳のりとる　信実

宮ゐうるうの紅葉よ為るうし対面もあわの風と言葉　文華

菜

とし生の新菜屑のうえ衣の紙けてそ江ひこあぬる　実氏

河内のうるうさふる菜の葉のるを南るぬつるうる　為世

為秀本

やまとうしやあせこのおとおりうえ南ひのあるる　光俊

逸所

人多のこのうりえのつりとわこちふいりふこひわるうを　よしあき

左氏も衣ふもうるのへのうりーの花のくを南こて　光俊

藤

人多の大川のへはうるうるぬうわへにわへ妹こひうは　しきし

ちせこひのうりえのうるうるこれい藤のくるるも　後鳥羽院

まうそしこふりうりとの藤衆まうをこれのこそ藤れう　光俊

世人のほうこうる世のうるうる大川のへはわるはうる　信実

紫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

若よりの三國ばかりの法乃水をれてとうろ四乃流れ　法華経
いろ〻の物ゝ色事ゝ春よりの花ゝ乃玉　通具
ひとつの玉を拾ひ集まるらんかつ貝の中のあやまち　為家
一頃多の四のかたそのかたかの月はやまとまくらん　鎌倉人
流れて風ふきまわる若の代よりその若葉とうゝやとの玉　公明
はるの新春光後の花を濱長國ハ住吉詠歌若葉乃
玉乃緒ゝとあるのにて後りきたい波長風輝ゝ乃
若ゝ乃ゝく美しゝ乃ゝ
若ゝ乃ゝ乃ゝ乃

[illegible]　光俊
[illegible]　雅経

紀の家

桃の花ちりまがふ春の風入てかすみの里まで[illegible]　仲実
紀人も[illegible]　宣茂
春はとてにしへのとをとあらけすひ家やゝ[illegible]　兼[illegible]
[illegible]　為家

都

[illegible]　[illegible]

[illegible]　信実
[illegible]　高遠
[illegible]　信実
[illegible]　光朝
[illegible]　額田王
[illegible]　光朝

[illegible]

[illegible]

故郷

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

故宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天地乃神代ハ[illegible]

法中
定家

閑居

[illegible]

同
長方院

窓

[illegible]

[illegible]

宅

[illegible]

同
家隆

[illegible]

廬

[illegible]

同
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　右相
[illegible]　西行
[illegible]　[illegible]

田家

[illegible]　後徹
[illegible]　[illegible]
[illegible]　法家
[illegible]　[illegible]
[illegible]　法仙

[illegible]　圓法
[illegible]　知弘
[illegible]　[illegible]

大和歌集巻第三十一 撥書　雑部十三

郡

[illegible]

[illegible]

[illegible]

限りなくつる乃様のうくるんとしてめとまるいろくの里　[illegible]
なれはかりそいつくかまほ里乃うるはとあてもつる歌　知家
駒をていくのくおく乃まへゆる燈やうるへなるらん　小侍従
ふきのわひみそれる秋つおいそこの里ゆもしなのして　兼仲
わるゑ乃つくとの歌の四月しもとそなのさと乃ゆるゑ西　乙親
うれとの[illegible]きこゝはやはりこゝ[illegible]の里をゑん　乃家
[illegible]の[illegible]の[illegible]の煙まさりかまるる乃里　基俊
非も[illegible]ひと門とふ[illegible]ふ[illegible]の里　乃親
わるゝ[illegible]の[illegible]の里　仲実

神乃とゝ[illegible]の里は嵐ゆく也　[illegible]
四月の[illegible]の月いる安乃[illegible]　長明
里[illegible]て光とゝ[illegible]月[illegible]の里　成仍
やゝ[illegible]の[illegible]嵐[illegible]　西家
[illegible]月の[illegible]て時[illegible]の里　[illegible]
[illegible]と[illegible]ひ[illegible]の里　[illegible]
見てせハ[illegible]の[illegible]の里乃[illegible]　[illegible]
[illegible]川の[illegible]の[illegible]の里　[illegible]光
[illegible]人のとゝ[illegible]の里の[illegible]の月新　良教

[illegible]海の里よりとわぬのうら思の名より出てきく　[illegible]

[illegible]師の湊の流れ[illegible]れハ信田の里もわすれなまわ　[illegible]

わすれて[illegible]れの里に近れハ[illegible]とかりよさてわすれる　肥後

[illegible]下に侍りて[illegible]の里にをとつ[illegible]　大進

[illegible]ねとやうこの[illegible]ん　人丸

世とそひく門出ハ[illegible]大[illegible]や行[illegible]乃里の[illegible]　[illegible]

[illegible]のもとに[illegible]ハ[illegible]やの里より[illegible]　光俊

八家集云康元〻年九月康俊の結[illegible]

角田川のわすれて世わすれ[illegible]乃川れもるま[illegible]

[illegible]海[illegible]

とをもわすれと[illegible]

村

[illegible]世と[illegible]れ[illegible]の村の[illegible]人[illegible]　清輔

[illegible]田の村の[illegible]　[illegible]　直房

[illegible]の村の[illegible]　家[illegible]

[illegible]ふ[illegible]の村の[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]　基長

[illegible]の[illegible]　光俊

[illegible]の[illegible]　[illegible]

市

[illegible] 経家
[illegible] 為親
[illegible] 忠雅
[illegible] 知家
[illegible] 円

驛

[illegible] 為家
[illegible] 為氏
[illegible] 為教
[illegible] 資経

庭

[illegible] 為兼
[illegible] 教行
[illegible] 西行
[illegible] 光俊

橋

夕ゝのみさゝしを色さゝなるとしてゝ　為家

床

ゆふつのすゝきの露はらはれて　土西門院
袖のわさゝ〳〵結ぶ歳の夕よ　兼宗
月の新九月のとけさ　光俊
さわとそさゝもわ色家中よりふさはしてそよぎつゝ　信実

棟

わかそゝしのわ〳〵ゆふ山里ハ　後嵯峨
ゆふ山里ハ　後嵯峨

窓

月させこゝろつゝねの窓の夕風よわゝの梅ハたゝ　小宰相

雨さゝ家の窓いたりはやてもゝよわさゝふる雨乃こゑ　摩通
ゆふ世こゝろとゝそ乃涙ゝ窓まゝふしこもゝまゝ　為家
雨ゝ窓いとふさゝゝゝのもゝ窓にわゝゝゝゝゝ　光俊
わゝ窓のゝ格子の窓ゝゝ人やゝゝゝゝゝ花とゝゝん　家隆
みゝゝゝゝゝ

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

門

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

墻

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible] 西念法師

薯

[illegible] 為親

[illegible] 為氏

[illegible] 為忠

[illegible] 知忠

巻第三十二　雑部十四

御調

[illegible] 為家

[illegible] 光俊

[illegible] 為家

酒

[illegible] 家隆

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 隆季

[illegible] 後頼

[illegible] 為兼

藥

[illegible] 為家

[illegible] 家隆

[illegible] 兼遠

[illegible] 為家

文

[illegible] 後頼

[illegible] 義隆

[illegible] 知家

[illegible] 為家

[illegible] 信之

[illegible] 資澄

[illegible] 雅有

[illegible] 為親

[illegible] 既昭

[illegible]

硯

[illegible]

仲正

[illegible]

筆

[illegible]

雑歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

太刀

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かつはゝ又ふるさとのやどのつゆ　信実

同

あはれいつくのちぢの白雲ぞ　後嵯峨

さはなるをとにしらるやたかの山　法眼

みつもろ山ぶきのさくとしらしを　朝

花ちりて雨ふるとのみ思ひしに　西行

雲ぬけてはるるとのみ思ひしに　知家

雲かくれつるしるのみなりけり　光俊

第

人のまれなるたかのやいとまにて　知家

雲かくれつるしるのみなりけり　光俊

鶴のとりやあるらんとたづねしに

鶴行

夏山ふかせをしのぶくさのうち　仲正

雲ゐにひびくこゑのみぞする

雷

山里は雨さへ雷のとどろくに　同

かたらぬ雲のうちにこそ鳴

ぬくとりのかさねる上にとりかさねる　為家

雲ゐにひびくこゑのみぞする　法眼

雲ゐにひびくこゑのみぞする　雲戸

雷

男山松の枝よりうつもれぬすゑの初雪わけ出よ　[illegible]

さらちねのいさめし梅のうとてうつるはさ〳〵そうかわ[illegible]

義つる[illegible]よ梅つくるうひまを　勢[illegible]をすゑ〳〵てんぬ[illegible]やいうし　[illegible]

いかれし松をの梅よりくちまて春のつとて山よりくらん　義秀

鶯

花の梅るの[illegible]てうしたるまつれもの[illegible]の[illegible]　同

梅のうちの[illegible]のうちの[illegible]　同

[illegible]の[illegible]　同

義

わま[illegible]ひとりひとり[illegible]

わさもうる神[illegible]の山春の[illegible]

[illegible]人の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 信実

[illegible] 同

[illegible] 重定

琴

[illegible] 信頼

八月十九日 沈水十寸 [illegible] 天皇五年 冬十月 伊豆

国より [illegible] 長さ十丈の毋を造らしむ 誠に [illegible]

[illegible] 則ち [illegible] 造らしむ [illegible]

[illegible] 輕野と云ふ人 張し同三十一年秋 [illegible]

宮殿 [illegible] 用ふ [illegible] 毋の名 [illegible]

世 [illegible] 今も毋 [illegible] 造る

[illegible] 立百姓 [illegible] 明法 [illegible] 毋を造る

[illegible] 初 [illegible] 塩の [illegible] 日 鐘鑪 [illegible]

[illegible] 天皇 [illegible] 造らしむ 音

[illegible] 遠 [illegible]

[illegible] 光

[illegible] 法師

家集 [illegible]

後頼

宗尊

為家

後嵯

亀山

重忠

[illegible]

[illegible]

信西

光俊

家長

[illegible]

内大臣

為道

[illegible]

為家

敷

[illegible]

鐘

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

金

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　　内大臣

[illegible]　　師光

[illegible]　　乃親

[illegible]　　前

[illegible]　　[illegible]

鏡

[illegible]　　信実

[illegible]　　定家

[illegible]　　後園

[illegible]　　後頼

[illegible]　　仲正

[illegible]　　同

松

[illegible]　　人丸

[illegible]　　信実

[illegible]　　西行

[illegible]　　人丸

ゆひ〜ぬるとん日をこそおもへのわこ松こ若生ふもと　同

あらし出て花ちる波の嵐の松夢のわ〜ま　宗家

ふいくるわらしこと岩の若松いくち千歳の神よかなるん　為氏

こ百年や待んの里のわれ松ゆつるまつ乃君の　為家

浪かくるふくの里のわ〜松月こんこそ待ひとなん　藤原為氏朝臣

わ〜松のりくの乃家の稚松神よわ千の浪よぬれぬる　忠良

見わ〜と波にわ〜神松おそ〜ぬるこよ〜わこん　藤原為家朝臣

嵐よふみこ〜こ〜きしのよるゆひこれぬる松して　仲正

春このこ待んの里のいる松ひとの時の浪落　為氏

猶ねのこ〜こ〜きれる波よい石の松もう絶て　後鳥羽

川水よ蛙なくなわ〜ぬ〜れい春よ　人丸

きこ〜ろ蛙なくなわ〜れい春風こ〜〜松せん　雲

秋花

石こ〜こ〜わ〜ぬる松花ちよ〜こ〜千ちこ〜ひ〜ぬる　東大寺大武

第一松こ〜ぬ〜ひ〜ぬ〜石こ〜こ〜千ちこ〜〜千ちこ〜〜　後頼

遊

ゆ〜ろ松こ〜のこ〜ひこ〜こ〜れて〜ぬ〜ぬ〜ぬ〜ぬ〜ぬ〜ぬ　同

こ〜のこ〜こ〜ろ〜ろ〜ろ〜ろ〜ろ〜ろ〜ろ〜ろ〜ろ〜ろ　信実

[illegible]

[illegible]

[illegible]

火取

[illegible]

知家

梅頭

[illegible]

[illegible]

後鳥羽院

後麻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とはきの神のうたにこゝろあてくらひてらのやくのしめ縄　雅忠
ゆきとうかねくれの浦ちかはらんとゆうきーと　法眼

巻第三十三　雜部十五

衣

一　ひとりねのとこの衣をもつてかたしきのうへにかさねて　為家
かりのやどの衣をもつてうちきとしたりけるとこの　為氏
衣のあつまりまこうにて物をとりて多く衣神まつりし　為信
出家しけるのちの衣かたみとしてのこりしを　法眼

わすれがたきのあまりにかたみとしてとりのこしたる　為家
物うしの一しかをもつてのこしたりしかをあたらしきあるじ　経定
とりてよみてのちやうに衣をあたらしくしたりしかをみて　法眼
ふるくなりたるものをあたらしくしたりしかをみて　為家
ちりぬるかたみとしてうちかへしてうちきをのこす人　光俊
ゆうづくよのかたみとしてうちかへしたりしかを　為家
嫁とこゝろうつりてうちきをのこの神つきに衣をかけまつて　為氏
つくりてうちきをのこしたりしかをうちかへしたりしかを　為信
つくりてうちきをのこしたりしかをうちかへしたりしかを　妙惠

[illegible] 人丸

[illegible] 唐花

[illegible] 家隆

[illegible] 同

[illegible] 経盛卿

[illegible] 俊成

[illegible] 俊頼朝臣

[illegible] 人丸

[illegible] 躬恒

[illegible] 忠信

[illegible] 秋篠月清

[illegible] 西行

[illegible] 如願

賞歌

[illegible] 為家

婦人のうたひとつ [illegible] 知家

[illegible] 安嘉門

袴

[illegible] 為氏

法師の [illegible] 為朝

袋

[illegible] 公朝

[illegible]

[illegible] 経信

[illegible] 長俊

[illegible] 良房

[illegible] 信実

[illegible] 内大臣

[illegible] 光俊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仲実

綿

知家

糸

[illegible]

機

知家

行

知家

[illegible]

[illegible]

車

[illegible] 後頼

[illegible] 有家

[illegible] 為家

[illegible] 定家

[illegible] 兼運

[illegible] 家

[illegible] 朝

[illegible] 仲正

[illegible] 為家

[illegible] 同

樋

[illegible] 順徳院

[illegible] 光俊

筏

[illegible] 後頼

うらふかうこそてこそ流れ滝川とかやん後土　後柏原
遠近のをちかたかとかはるらし　後年

紅

わく涙のかけつる袖はかぜふかぬ　兼盛
月のけしきはものをこそ思へ　基俊
宵のうちはつゆかとのみ見しかども　後撰
今夜はかぎりなきものとこそ　後撰
巻きてかへるこしのかなしさ　資通
巻きてかへるこしのかなしさ　光俊
ふるさとのくれはてぬれば風のおと　異歌

風をうらみまのうきまのうきの月　光俊
さしてかへるこしのかなしさ　人丸
きかぬ海をかぬ海をこそ思へ　元真
まとはるるかぬ海はかぬ沖をこそ　高市黒人
朝開口をかぬ海はかぬ沖をこそ　田邑麻呂
海わたるこれは沖の白かもと　歌朝
はるかなるかぬ海をふかぬ海にこそふ　同
立ちぬ海風をかぬ海をこそ　後新

[illegible]　右家
[illegible]　寒会
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　後頼
[illegible]　[illegible]
[illegible]　仲実
[illegible]　同
[illegible]　同

[illegible]　好忠
[illegible]　[illegible]
[illegible]　西行
[illegible]　同
[illegible]　三条
[illegible]　盛方
[illegible]　[illegible]
[illegible]　後鳥羽
[illegible]　[illegible]

[illegible]　清書

[illegible]　梅の門作

[illegible]　孝通

[illegible]　花実

[illegible]　景徳

[illegible]　西家

[illegible]　同

[illegible]　清書

[illegible]　光俊

綱

[illegible]　清輔

[illegible]　為因

[illegible]　清輔

縄

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]

緒

[illegible]　兼盛

綱

[illegible]　宣家

人しれぬ[illegible]　同

[illegible]　[illegible]

[illegible]　知家

人をもの[illegible]　澄実

奥深

[illegible]　知家

[illegible]　為家

[illegible]　知家

[illegible]　先後

[illegible]　為家

巻第三十四　雜部十六

神祇

[illegible]　[illegible]

[illegible]　後頼
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

うゑまわるかわのくいまりのこれるうゑ作
こそ為のけもらるそれ植くゆくこころそそ
くりくるともそろせそ
かりまのや鶯のそらのかのそこ考ろ紙ハ絵をかろ世 信濃
かーまのやいろ枝条をたろ考ろ人ハ神のまかく 定家
かもしのそろねよかろ世をやらーなこわろ乃えろ通ろ 雅経
なるあ世人をこのろまいそ結て月新清きこ西ろ清姫 秀能
万代の表にもわしハ世ほろ七まろ神の西のこ月ろさ 後鳥
ことろーぬくのろハ清ろてひとろの神とうこうるか 伊行

大ひこやいのろ表ひとうこのひ新とーわろ枝の枝ろよ 清輝 定家
ちろやゆろちろふとひと世と枝の条かろてこけろ表代の神 安嘉
神ろけていの世ろとも表ろろてめまにハわろれまるまろ 相模
わろかまろ豊景姫ろーく人いろーふろうぬ義清の神 雅周
ろかけていそふ三宝の神やけこゆやとこーくよ神とまろん 知家
ろ表ろよとハろわうんをりひとの神のろーハ方ろこれきけ 経家
延中のわとろの神よこ栄ろーわれハいろーむろりろこよ 寂蓮
大に山若のわくの後世ひハ天鳥神もろれしやこむ 丹波忠春
神恒のとーろ枝よころ世て一表ひろかろ人の白書 長成

ちやうの神とも言ひつべきやうに侍りける松　西行

もろ人の折ひとうの源氏よりはしめてのまひ　信実極

ゝ海のゝ国の浦さゝなみにて神のゝ幸ひ　西行

ゝ流れたる松の根ゆゑの名をとゝめ　同

六月のそらに雪ふりて雪に埋れたる松　同

秋ゆのひさしの神のちかひにて人の書とゝめ　二条

わかゝりしときや人と契りとて一とせにねきてゝ　俊頼

天満宮に日数のこゝろをかけまくもかしこきやのりの神　後光

法の花蓮山ちかひにて信吉の神　義家

新代よりしく見侍りの松　同

ゝれり世ゝそこの唐とうの国にまれる信吉の神　同

神やいとくの川の後のこゝろの法のこゝろを乃きを　光信

なる人乃末の下陰の辺社作るきりのぬきこもしたん　信実

東海道野中乃夏のつま社こゝや花をこゝろの出る神　二条

二のさく八年の法師ちうとして生まれし神の法とこれなり　義家

やとゝあのうてゝ社のこゝろくゝ七の社にまゐりてゝ　宗尚

墨吉よりこゝの迹神代乃伝て久しくやまとの系　西行

明日さかりの海の松ゝゆゝけてこゝ次姫君世とゝこゝの夫

雜部　為家

行通

重島

為家

紹介
右大臣

釋教

心海

信忠
宗性

慧空

後成

同

同

同

後成

同

若暫持者我即歡喜

[illegible] 俊成

殺諸天人量於他七

[illegible] 慈恵

提婆品龍女成佛

[illegible] 同

抹薪及菓蔬随時恭敬与

[illegible] 西行

若坐居經行除睡常攝心

[illegible] 俊成

十展轉随喜功德

[illegible] 慈恵

西方鄉之避走遠住

[illegible] 俊成

廣宣流布

[illegible] 慈恵

[illegible] 同

[illegible] 慈遍

[illegible] 法華経四 法華経

[illegible] 西行

[illegible] 法師母
[illegible] 長谷門主
[illegible] 光慶
[illegible] 補注落山
[illegible] 隆弁
[illegible] 為家
[illegible] 同
[illegible] 西行
[illegible] 長常
[illegible] 同

[illegible] 同
[illegible] 法信
[illegible] 一通
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 同
[illegible] 宝蔵
[illegible] 同

[illegible]　為家
始めてこの[illegible]の道さだめぬる門　あくてはつるな　後鳥羽
[illegible]　信実
[illegible]　同
[illegible]　雅有
[illegible]　為親
九月九日その[illegible]　同
[illegible]　為家
[illegible]　同

[illegible]　為家
[illegible]　為家
[illegible]　仲正
[illegible]　為家
[illegible]　同
[illegible]　同
[illegible]　兼安
[illegible]　同

世とともにうつりかはる海の人口にあふれのこれる　日

雲のうへにいとかしこくかなしきものかなと思ひ　文殊院

若かりし時はかくもさしうかれ　行家

つゆ〳〵なほ世をうしろ向きなるいとのうとくゆかしきかな　衣笠内大臣

法の水わくたちゆく末の世とかなしかりけるひえの山寺　慈円

巻第三十五　雜部十七

帝王

八幡宮の文書の奇瑞をしのびきこえ　人丸

つきもなかりし人の名のうれしかりけるかな　俊成

隱

なほ法にてこそあらまほしけれとやのこのみてこそうつきもて　法華

春部

氣仲の国にもしつかまのうへにてとしの春のあらみよしき　日

風のまもりをきこえたまふの内より盛りにさきたるとうみ　後撰

中宮

かきのもとにてみてやもの思ふ人に三月雪のこる人　家隆

月のうへに紅とうつりてはのこるものかな　仙こう

親王

年をへて生ることは行の国のはつ花せさうさくらの子代ぞ　西園

春をまつ行の山園の万代は行もすきのうけそまもるん　西園

将軍

下の帯はしりそふおいをとりけてえみそうろう陸の月　春遊

大臣

うるはしく山ぶきのこしてはるをまつ春のはつとをくもあるかな　前内大臣

代と聞きくけるはしく里の住山おさのゆのあと来もうろうか　有春

哥人

さうしきもうのとうくおもひあ人浦よ見れうりの浦人　才三の尼

民

いりまそく夜をそのあをねさうけて春と民をうひうきん　松栄入道

ひとつとこそ世のてうりはしくとも民のちうとをとこそのやはる　同

おそはさ民の司の若うわふをるをうちうのやまいしの色　西園

いつわて民のちうとをうふきん小田のさうをあとまをせし　同

海ふよをそふ民の横をそみてのさうはあうをのまを　内大臣

古山とりをうり川上をふれは煙や民の家のかうん　西信

家長

[illegible] 家隆
[illegible] 同
[illegible] 為朝
[illegible] 源房
[illegible] 駿船
[illegible] 仲実
[illegible] 同
[illegible] 家隆
[illegible] 信実
[illegible] 兼蓮
[illegible] 光俊
[illegible] 家隆

[illegible]
[illegible] 信実
[illegible] 兼蓮
[illegible] 光俊

尼

[illegible] 家隆
[illegible] 同

一とちにみの侍といてらひやまひすてゝとりよりうらん　知家

侍婆塞

うゝゝくうゝ朝ふかきさゝ杉のあいゝ山の毛ゝや世れるん　慈

つゝゝくゝふゝとゝのいとしゆゝ紙のゝゝ中にまゝゝゝ　師時

又

かゝいろはゝゝゝの花は衣をにゝひゝゝゝゝゝ神　知家

天のゝあゝゝとゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝん　宗尚

雅子

とゝゝゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

貞享十七年[illegible]の[illegible]白衣の美女[illegible]

[illegible]

婦人

[illegible]

[illegible]

女

[illegible]

[illegible]

[illegible]

妹

[illegible]

妻

[illegible]

[illegible] 経家

使

[illegible] 家長

[illegible] 石胡

知家

[illegible] 光俊

同

好忠

[illegible]

商人

[illegible] 信定

[illegible] 光家

[illegible] 家隆

海人

[illegible] 雅経

[illegible] 後鳥羽

[illegible] 後成

[illegible] 武

[illegible]　光俊
[illegible]　家蓮

夷

[illegible]　乃國

匠

[illegible]　人丸
[illegible]　伝夫

遊女

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　家房
[illegible]　仲正
[illegible]　[illegible]

遊士

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

傀儡

[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

一ゑとこ人のゑとけい立久ゑとこてゑけてゑわけてゑの里 素雪

一よ・けれとこの月ものゑ花むしひとてゑゑ人乃奥代 宗家

うゑれちのうゑれてわやく雑やゑすうゑゑゑゑ和ゑ筆 春屋

大井川巻おさまやの行桂ゑ色ゑやゑゑしなゑゑん 乃家

わゑれゑさ行ゑゑゑものゑとゑ月ゑく白れゑゑれわゑ 森蓮

撰文

落つゑり松とゑゑいてゑゑ巻れい花のつまゑと人やゑゑん 医房

ゑゑちゑゑ波の仇まとゑゑゑまいてことゑ流ゑ雑ゑゑ月 行家

ゑ月行ゑゑけさゑゑつひゑ人のわゑとゑゑくゑゑゑ 乃顔

光

ゑゑゑゑゑわとゑゑゑゑ川ゑゑゑ川ゑゑゑの花 呼光

ゑゑゑの三川のわさまゑゑゑゑ月ゑ 藤原

健男 ますを

ゑとゑゑゑゆさとゑゑゑゑゑ

賤人

[illegible]

総角

[illegible]

高髻子　髻髮　うるみ

[illegible]

奴僕

[illegible]

里子

[illegible]

唐人

[illegible]

楊貴妃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

百歳の亀の上ちゝの心をしらせとかゝるもてうのけ衣　出門内大臣
ゆゝしきさとをあらはす心の月新よ老とをとゝろ家門の姫　藤宋
雅行の法しりの法をしらせ君をつゝみて民をやすんぜ　仲郷
ゆゝしき心をもてる松人の行ひとはゆゝしき君の心あり　森蓮
君のよはまもるちはしるしの海の民の教の光さしそへ　森蓮
とのつゝ治わる代やさこゆんとゝるゝとゝふ山人のうた　信義
君の代はゝるかとの山の色のゝきわもんれさこの法よわゝ　後成
ゝよゝく人心人は君の代よいくとゝるゝとゝてゝゝ人　為家
ワの君とゝゝもとゝいのゝ舟ゝるれやわよむゝゝゝゝの　之親

ゝゝやはゝゝゝゝ君ゝゝゝゝ法ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　季通
君の代は七夜月ひこの海をゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　後成
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　基昌
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　長雅
海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　行家

大嘗會

君ゝゝて二ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　雅俊
君の代の御ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　家

九服

[illegible]　仲実
[illegible]　基昌
[illegible]　大進

行幸

[illegible]　為家
[illegible]　同
[illegible]　光俊

公事

[illegible]　基家
[illegible]　雅俊

旅

[illegible]　人丸
[illegible]　家隆
[illegible]　光俊
[illegible]　信実
[illegible]　定家

[illegible]　忠良
[illegible]　修善
[illegible]　冊懸
[illegible]　兼光
[illegible]　為家
[illegible]　為綱
[illegible]　同
[illegible]　同
[illegible]　為重

[illegible]　為綱
[illegible]　修理大夫
[illegible]　為家
[illegible]　西行
[illegible]　定重
[illegible]　清輔
[illegible]　忠房

いくとしのちゆきつもれやまもりん椎の葉せゝる秋の夕れゝ　行実
ふるさとの山の峯ねの夕まくれゝ春やちゝくの若川の水　信義
ゆくすゑ行くゝゝて思ひてゆくの民と面白ゆくん　円
そこもとゝみくゝの秋ゝゝゝとゝもの宿　定教

狩猟

わりの山おもてにてもみゝ人ともやさゝきみれる雨　赤人
ゆくすゑ行らんゝゝゝゝゝけんん秋の月のいそよりすゝ　仲正
たゝかさるとのみゝのやみのゝのれわ森ゝゝそゝ　信実
せこゝゝたゝゝゝゝゝ

入日さす海ちとせしハ一ゑ井わ一の海ハてゝつもいくわ　能因

久しうもゝとしのあるてよりしかしハ乃わ乃ゑま　宗祇

義湯

ゆきもあの二の海といてゝもしてゝ乃ゆめとものいつるゝも　よしみち

ゆゝうゝ乃ゝすゝ山ゝとゝ雪深の乃ゑとハ深く春ゝゝゝ　後鳥羽

ゝゝゝゝきハ春雪山の夕面てゝ山ゝ乃ゝ雪ゝ乃ゝ　西行

ゝゝゝ乃ゝゝゝゝ

[illegible] 三輪

[illegible] 祐盛

[illegible] 光俊

[illegible] 撰波

[illegible] 後嵯

[illegible] 同

[illegible] 宣家

[illegible] 後嵯

[illegible] 重家

[illegible] 宣家

[illegible] 宣連

[illegible] 乃國

[illegible] 義忠

[illegible] 家隆

[illegible] 家持

[illegible] 人丸

石

[illegible] 同

月ふかく問はゞ[illegible] 同

[illegible] 同

言語

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

[illegible] 同

一ツ　式部
　　教経

[illegible]　　同
いふせんとてうきよの世をふるのまゝ中となりくれぬ　乃家
四もとれねわけをその河瀬まきこみ一川はせをとゝ　為稲
姫の御の歌よりとをつゝ弱うるをとゝ　為基
山桜ちりくらんとのゝうてゝ家ゝ花にくまなく　同
一とせのいさゝかひさのまをゝ八のゝ[illegible]乃梅　同
[illegible]　　元補
[illegible]　　伝蓮法師
[illegible]　　仲実

[illegible]　　為家
三四月のゝのゝくゝ[illegible]　　同
[illegible]　　同
[illegible]　　同
[illegible]　　前大僧正慈円
[illegible]　　仲実
[illegible]　　為家
[illegible]　　為家

つゝ世のことわりとうらめしうてこゝにわかれをわびぬれば　任寛
ゆくすえこゝろのあるかたにまかせてこゝに籠居（スタル）にたゝぬきりもなし　殿義隆左衛
月分中
梅
梅ゝ花のかをりやそへて月のあかきにてこゝろの　西行
うらみの月まちいでてうら新のやまゝとりとりとりの　同
中くらゐ世のくるしさにそ月とともにすみすてし　同
忘分中
おもふ人こゝろとそしらせんいとせんあひてうらねて　同
ゝ（いとゝ）ものをこゝろのうらやくるゝやくのあ乃　同
ゝ（いとゝ）やはらふのあさうるそてゝまゝしらすしらすしるもするわ　同
ゝ人をうらみ涙よりしをれはひさてをうらされ　同

世分中
世のなかのうけをうらんとうらあしてゝ　同
ゝ（いとゝ）ものをこゝろのうらんをうらんとうらんやくのこゝろの　同
世上月
みをうしなひあるあはのあはのうらんはやしれはやすらわ　同
梅
ひとをうらみかをうらんとうらんはてゝ梅のこゝろ人をうらんう　同
忘百人中
我乃をそはのうらんとうらんとうしわれぬ人のうらをうらんとも　同
百年をうらんとうらんとうらんとうらんとうらんとうらんとうらん　元文
花表一玄乃歳とうらんとうらんとうらんとうらんとうらんとうらん　如意
ものをうらんとうらんとうらんとうらんとうらんとうらんとうらんとうらん　同

[illegible] 為兼

[illegible] 他行上人

[illegible] 行恵

[illegible] 貫之

[illegible] 為家

[illegible] 同

[illegible] 家隆

[illegible] 為氏

[illegible] 為家

[illegible] 為兼

[illegible] 為氏

[illegible] 光俊

[illegible] 同

[illegible] 家隆

文木抄奥書云

昔中比より哥仙の家集幷代々勅撰の撰漏和
歌所拾集也自今後為勅撰又は道の為
らんのあらん不顧世嘲集置者也又文木抄と
名つくること今案なわくとも抄と名と思案して
ちとしまりたるとうる義中より自義乃忠義一人来
ていとく故百集と和歌の抄ハ技書集と名付人
しらい家の代義思ハ雅人なれ抄なれ
とうのきしハ秘ハ元江中彼玄臣房といふ者なりを

て義とあるなれ也と冷泉黄門為相卿ようとれ
とある相伝ようり帝代不思議の異義来代乃奇異
我物と深秘抄也但技案ハ日本国と数者也
可貴其探技と字なのつくりと素の字代本と
用て文木和歌抄と名付られ[illegible]
長清法名蓮照義ようと間ハ秘義して文
抄見断ようと抄高駿河守依百一帖之字
と其抄ようと武義せる所貞一帖之写を文帖
義夷より留年年草ようと数三十六帖ようと或

時枝物語と盗出し巻門百ゝ物出年一巻
ゝ数和ゝ題号ゝ後有清兵文字ゝ録
源ゝ枝ゝ人以證本ゝ枝不審者也ゝ

康永元年霜月日

世一部古古帖ハ遠江国住人勝田前越前
守長清朝臣撰ゝ年和ゝ宗通同為朝
ゝ儀清勅撰集間来代ゝ宣宝百ゝ
ゝ宗教世ゝ比類者也ゝ

文事和ゝ集大部ゝ所ゝ
今和ゝ所ゝ
世の人ゝ
一ゝ題ゝ
世間の風異躰ゝ
ゝ
朝ゝ

何の用捨もなくして[illegible]
なりふりもかまはず[illegible]
[illegible]
[illegible]

東京